

目指す幼稚園像

◎子供が主役の楽しい幼稚園「つなげよう 未来へ スマイル臨川」

<基本方針1>

「主体的に活動に取り組む態度を育む」

- 基本的な生活習慣や態度を養う。
- 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする、知識及び技能の基礎を育む。
- 上記を活用して、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする、思考力・判断力・表現力等の基礎を育む。
- すすんで、粘り強く取り組み、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」を育む。
- 互いの違いに気づき、他者への思いやりを深め、集団への参加意識を高め、人格形成の基礎を培う。

<基本方針3>

「保護者・地域の教育力を生かす」

- ドキュメンテーションによる積極的な発信を継続し、理解を得る。
- PTA活動等により、園児の活動の一層の充実を図るとともに、保護者同士の交流を促進する。
- 地域人材や地域施設を活用した教育活動の充実を図る。

<教育目標>

臨川で共に育つことに誇りをもち、互いの違いを認め励まし合う豊かな心と、時代の変化に柔軟に対応する知恵を身に付け、たくましく未来を創造していく幼児たちを育成することを目指し、次の目標を設定する。

やさしく つよく ◎かしこく（本年度の重点）

<教育目標の重点は「かしこく」>

幼児の興味・関心に応じた自発的な遊びや生活の充実を図り、感じたり、気付いたりする力を伸ばす。気付いたことや分かったことを生かして、さらに考えたり、試したり、表現したりする活動にすすんで粘り強く取り組む主体的な態度を育む。

<重点取組>

- 直接ふれあう環境を生かした体験的活動・表現活動
身近な人のかかわりの中で、遊びをつくり出し、協働しながらよりよく工夫する活動に取り組む。
動植物を育てる体験、観察する活動を継続しながら体験的な学びを充実させ、自ら感じたこと、気付いたことを生かし、多様な活動やものづくりに取り組む。
- 幼・小連携の取組
小学校との併設園である特色を生かし、校庭等の施設利用、小学生との交流、行事への参加等により、教育活動を充実させます。また、幼稚園と小学校の教員が5歳児終了時の姿を共有し、円滑な接続を図ります。

≪幼児期において育みたい資質・能力の三つの柱≫

- ①豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」
- ②気付いたことや、できるようになったことを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」
- ③心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」

<基本方針2>

「様々なかかわりをとおして、自己肯定感・自己有用感を育む」

- 友達とのかかわりの中で、自己を理解したり、自己のよさを発揮しようとしたりする態度を育む。
- 異年齢交流、小学校との交流、保護者・PTAとのかかわりなど、様々な人とのかかわりを大切にする。
- 他者との違いや互いのよさを認め合い、生かす気持ちや態度を育む。
- 「みんなで活動すると楽しい」「人にやさしくすると気持ちがよい」と振り返る機会を充実させる。
- 朝や帰りのあいさつ、ありがとうの言葉を丁寧につなげる。自己の存在の大切さ、自分のよさを自ら認められるようにする機会を充実させる。

<基本方針4>

「教職員が協力し合い、自己の才能を発揮できるようにする」

- 教職員が互いを敬愛し、個性や能力、経験等を活かせる風土を確立する。
- 指導方法や教材開発の研究・研修等による指導力の向上を図る。
また、働き方改革を推進し、健康の保持・増進とともに、自己啓発を図る。